

コード No. 18721

**Anti-Human
Tau Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

-
- はじめに : タウタンパク質は、細胞骨格の一種である分子量 5 万~7 万の微小管結合タンパク質です。アルツハイマー病などにおいては、異常にリン酸化されたタウタンパク質の蓄積が認められており、微小管から離れタウタンパク質同士で結合し神経原線維変化を生じると考えられています。このタウタンパク質には、第 17 染色体上に位置するタウ遺伝子の選択的スプライシングによって生成される 6 つのアイソフォームが知られています。
本抗体は 6 アイソフォームすべてを認識します。
- 免疫抗原 : Human Tau タンパク質の N 端部分合成ペプチド (AEPRQEFVMEHDAG)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 5 µg/mL にて使用可能
(ホルマリン固定、パラフィン切片 : 脳組織ではギ酸処理が有効です。)
ウエスタン・ブロッティング 5 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : リコンビナント Human Tau タンパク質アイソフォーム、Tau 352, Tau 383, Tau 381, Tau 412, Tau 410, Tau 441 すべてと反応します。(ウエスタン・ブロッティングにて確認)
- 参考文献 : 1. Delacourte A., Buee L. *et al.* Normal and pathological Tau proteins as factors for microtubule assembly. *Int Rev Cytol.* 1997;171:167-224. Review.
2. Goedert M, Spillantini mg, Hasegawa M, Jakes R, Crowther RA, Klug A. *et al.* Molecular dissection of the neurofibrillary lesions of Alzheimer's disease. *Cold Spring Harb Symp Quant Biol.* 1996; 61:565-73. Review.